

市立大津市民病院を受診された患者さまへ

本院では、倫理審査委員会の承認を得て下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先までお問い合わせください。

研究課題名 (倫理審査委員会承認番号)	Nintedanibで加療された間質性肺疾患患者の臨床的アウトカムに関する多施設共同後方視的検討 (No,160)
研究責任者	市立大津市民病院呼吸器内科 診療部長 竹村佳純
他の研究機関および各施設の 研究責任者	研究代表(統括)者 京都府立医科大学呼吸器内科 准教授 山田忠明
本研究の目的	本研究は進行性線維化を伴う間質性肺疾患(PF-ILD)に対してNintedanibで治療を行った患者について臨床的アウトカムと患者背景の関連について後方視的に調査を行い、予後、効果、副作用に関する予測因子を明らかにすることを目的とする。
対象者	特発性肺線維症、全身性強皮症に伴う間質性肺炎、進行性線維化を伴う間質性肺炎のいずれかで、2019年8月1日～2023年7月31日の間にNintedanibを開始された症例。
調査期間	承認日から2026年3月31日まで
研究の方法 (使用する試料・情報の項目等)	これまでの診療記録を振り返り、年齢、性別、身長、体重、喫煙歴、基礎疾患、間質性肺炎の診断名、CTパターン、間質性肺炎診断日、間質性肺炎のフォローを開始した日、ベースラインのステロイド使用量、免疫抑制剤の有無、Nintedanib導入日・中止日、動脈血液ガス分析、SpO2、6分間歩行試験、呼吸機能検査(FVC、DLco)、血液検査(アルブミン、血算、KL-6、SP-D、CRP、自己抗体)、初回急性増悪日、高用量ステロイド導入の有無と日付、在宅酸素導入の有無と日付、呼吸器関連緊急入院の有無と日付、死亡日などについて調査を行う。
試料/情報の他の研究機関への 提供および提供方法	研究のために当院で集めた情報は、この研究に使用する際は匿名化した上で取り扱います。この研究で得られた情報は京都府立医科大学の研究代表者および個人情報管理者の責任の下、厳重な管理を行います。
個人情報の取り扱い	情報はすべて名前などの個人情報を削除し、個人が特定されることはありません。また、研究発表が公表される場合でも個人が特定されることはありません。
本研究の資金源(利益相反)	該当ありません。
研究成果の公表	学会発表や学術論文として公表します。
お問い合わせ先	市立大津市民病院呼吸器内科 診療部長 竹村佳純
備考	